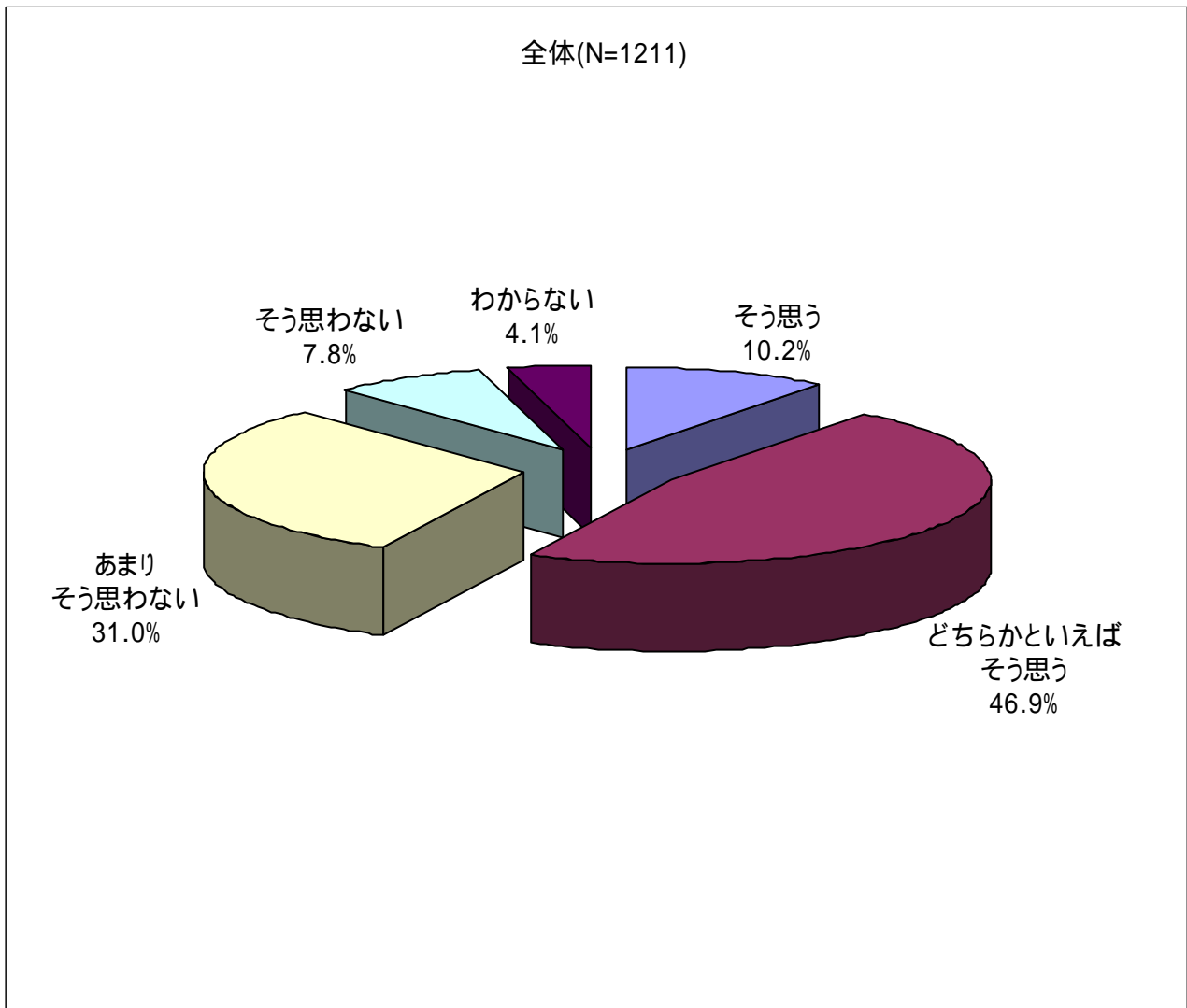


# 安心・安全なまちづくり

## 1 安心・安全について

### ■ 札幌市が「安心・安全なまち」だと思うか否か

問 あなたは、札幌市が「安心・安全なまち」だと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



札幌市が「安心・安全なまち」かどうかについて、「そう思う」が 10.2%、「どちらかといえばそう思う」が 46.9%で、この2つを合計した“思う”の割合は 57.1%と過半数を占める。

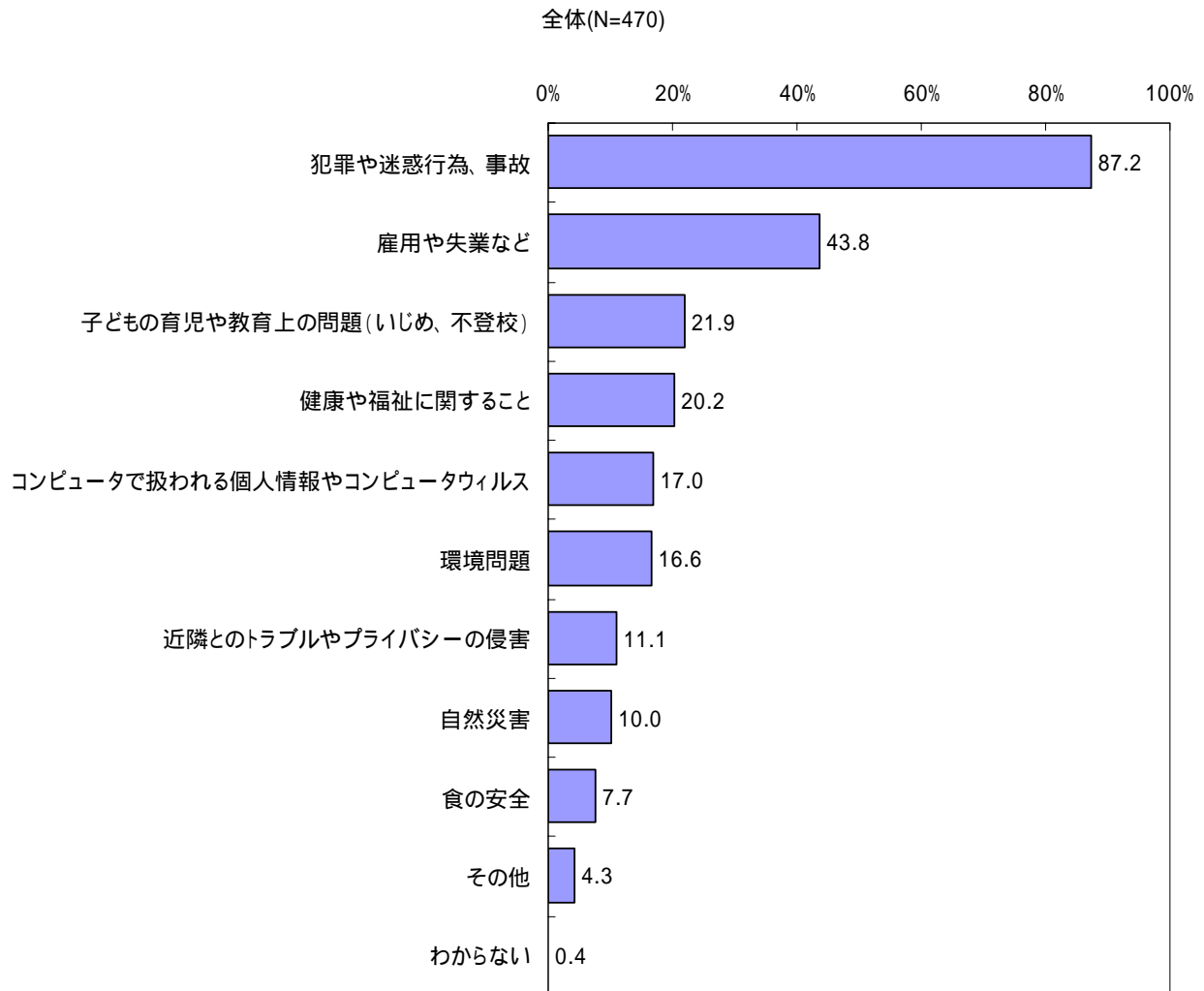
これに対して、「あまりそう思わない」が 31.0%、「そう思わない」が 7.8%で、この2つを合計した“思わない”は 38.8%となっている。

札幌市が「安心・安全なまち」だと“思う” 57.1%、“思わない” 38.8%。

## ■ 札幌市の「安心・安全」に対して不安に思うこと

（前問で「3 あまりそう思わない」、「4 そう思わない」と答えた方にお聞きします）

問 あなたは、札幌市の「安心・安全」に対して、不安に思うことは、何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。

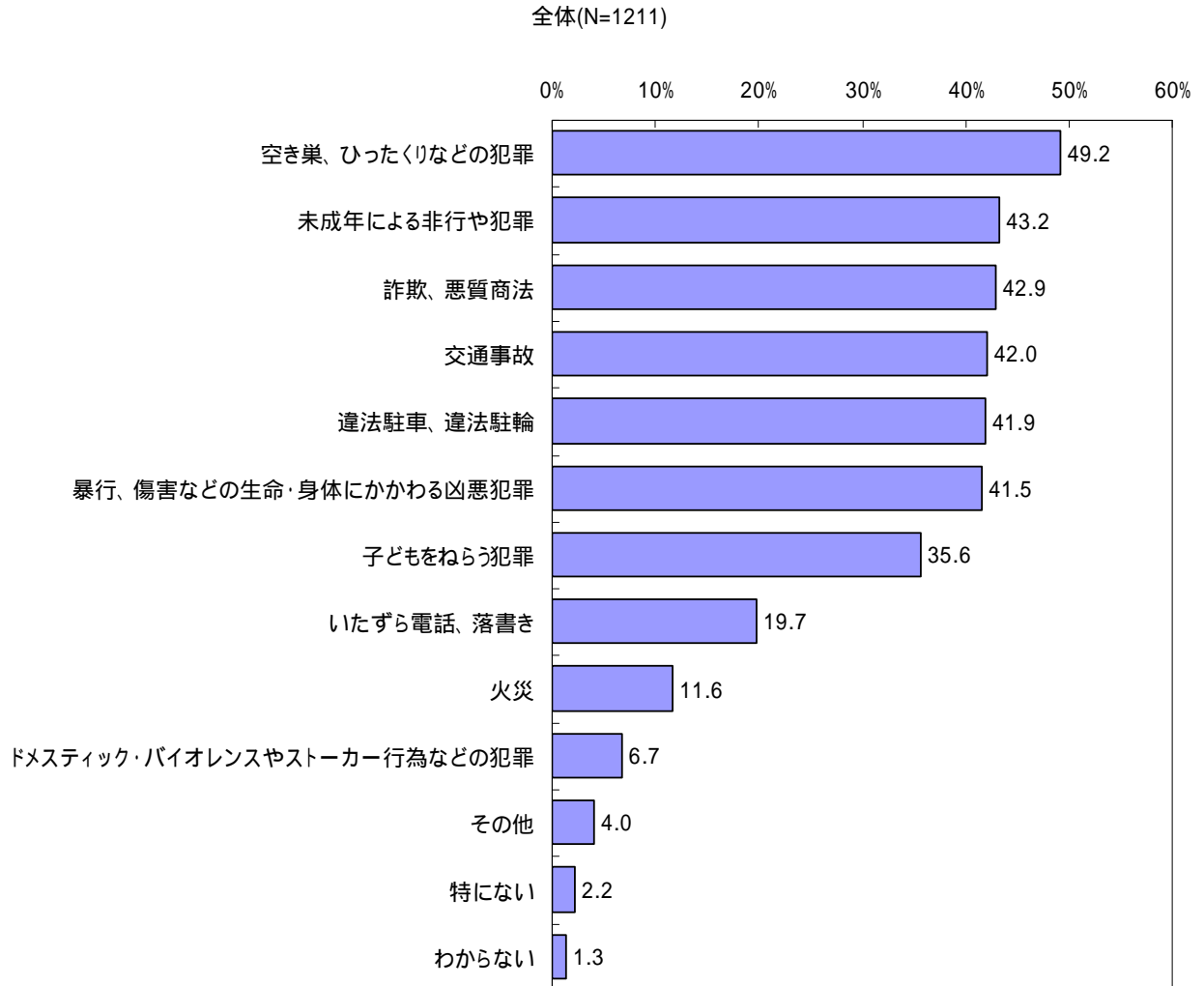


札幌市の安心・安全に対して不安に思うことは、「犯罪や迷惑行為、事故」が 87.2%となっている。これに、大きく離れて「雇用や失業など」が 43.8%で続き、以下には2割以下の項目が並んでいる。

安心・安全に対して不安に思うことは、「犯罪や迷惑行為、事故」87.2%。

## ■ 市内で不安な犯罪や迷惑行為、事故

問 あなたは、札幌市内で不安になる犯罪や迷惑行為、事故は、何ですか。次の中から、あてはまるもの  
にいくつでも をつけてください。

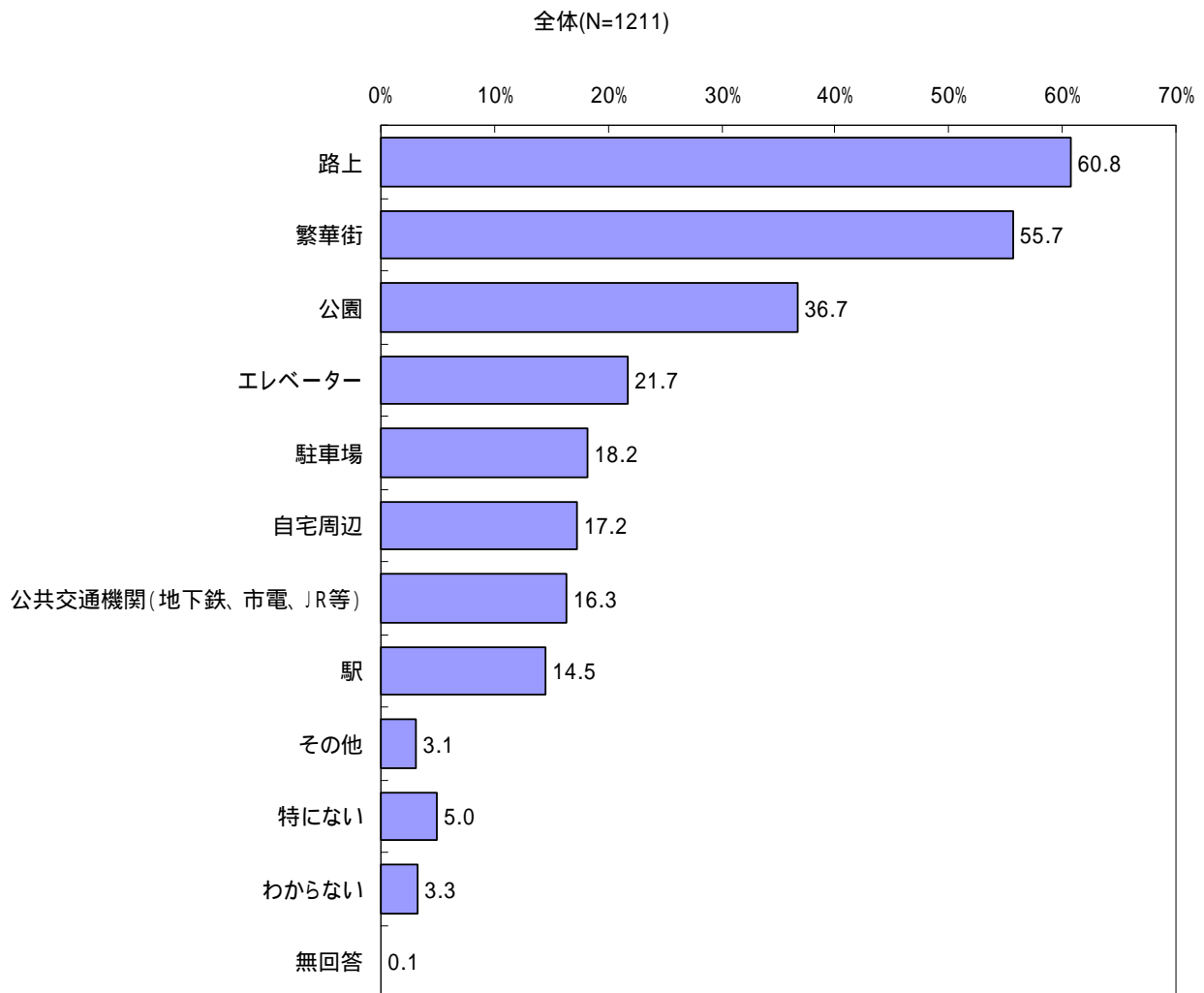


市内で不安になる犯罪や迷惑行為、事故については、「空き巣、ひったくりなどの犯罪」が 49.2%で最も高く、以下「未成年による非行や犯罪」43.2%、「詐欺、悪質商法」42.9%、「交通事故」42.0%、「違法駐車、違法駐輪」41.9%、「暴行、傷害などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪」41.5%、「子どもをねらう犯罪」35.6%となっている。4割台が6項目割、3割台が1項目であり、さまざまな不安があげられている。

札幌市内で不安になる犯罪や迷惑行為、事故は、「空き巣、ひったくりなどの犯罪」49.2%

## ■ 市内で犯罪の不安を感じる場所

問 あなたは、札幌市内で、自分や身近な人が、犯罪に遭うかもしれないと不安になる場所は、どこですか。次の中から、あてはまるもの*いくつでも* をつけてください。



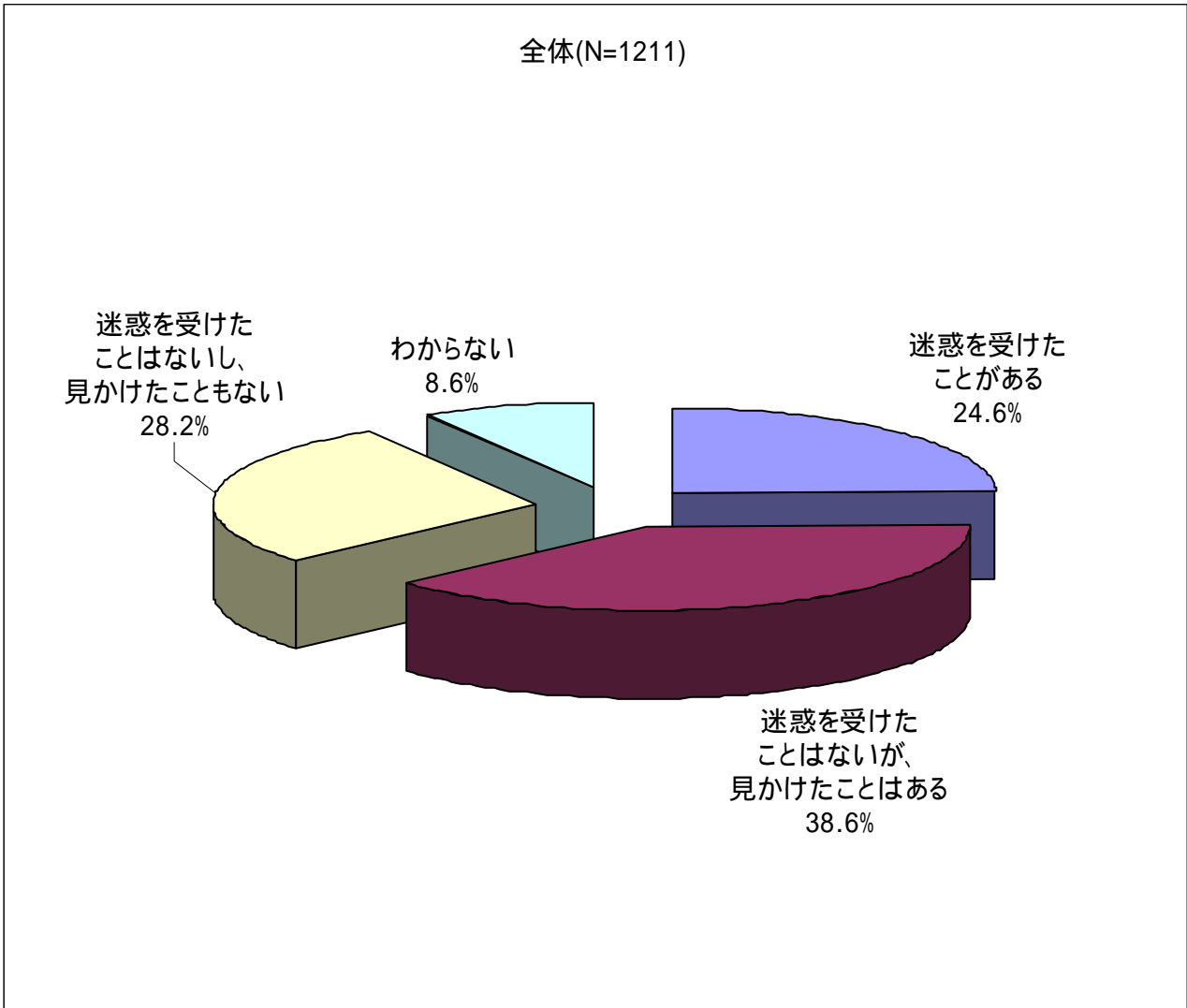
市内で犯罪の不安を感じる場所は、「路上」60.8%と「繁華街」55.7%が過半数を占め、以下、「公園」36.7%、「エレベーター」21.7%、「駐車場」18.2%、「自宅周辺」17.2%、「公共交通機関(地下鉄、市電、JR等)」16.3%、「駅」14.5%と続いている。「繁華街」といった特別な場所だけでなく、「路上」「公園」「自宅周辺」「公共交通機関」など、身近なあらゆる場所があげられている。

札幌市内で犯罪の不安を感じる場所は、「路上」60.8%、「繁華街」55.7%。

■ 「つきまとい勧誘行為」で迷惑を受けた経験の有無

問 あなたは、自分や身近な人が、繁華街において「つきまとい勧誘行為」で、迷惑を受けたことがありますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。

つきまとい勧誘行為とは、拒絶の意思を示している者に対して、しつように勧誘を行うこと。

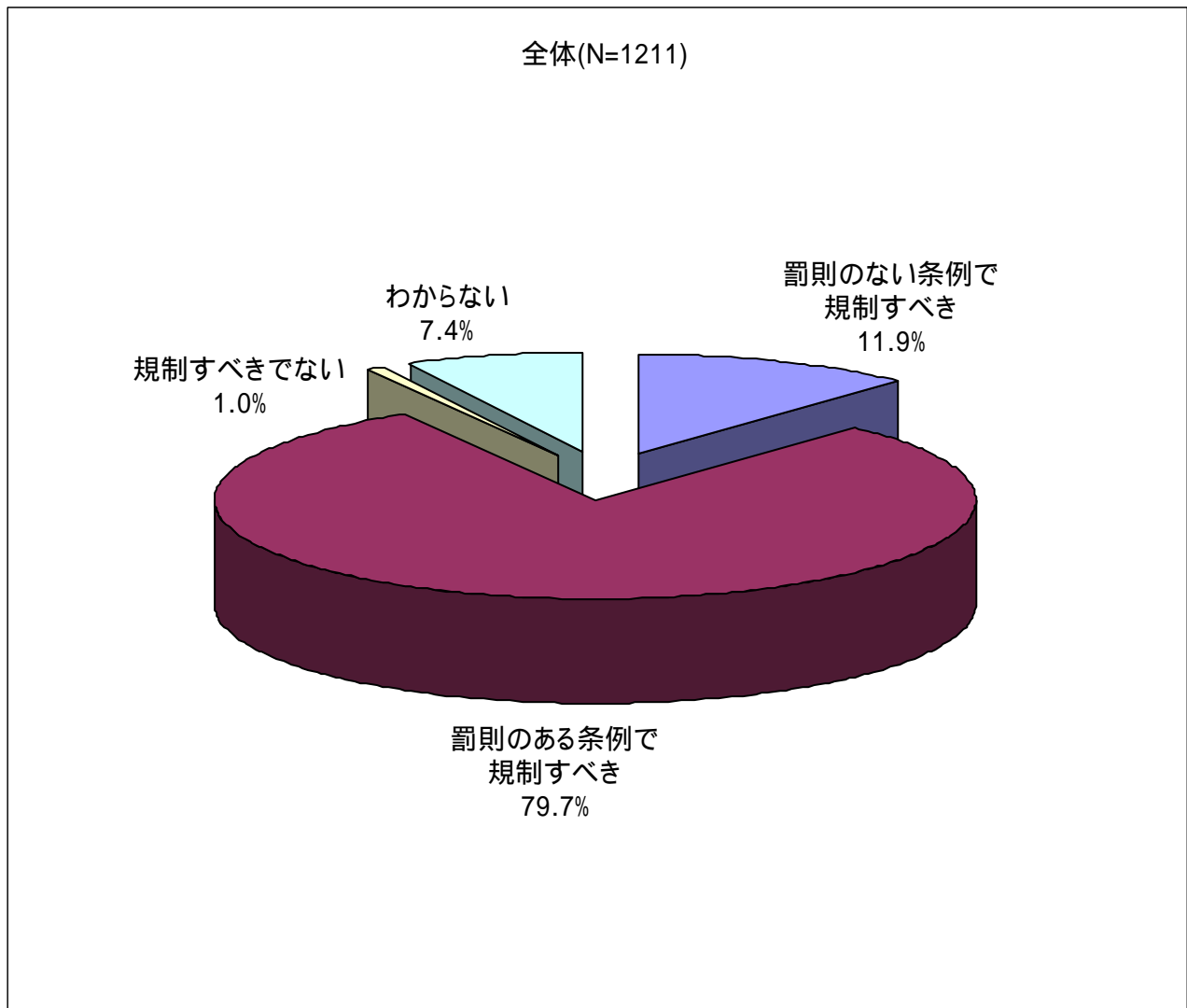


自分や身近な人が繁華街で「つきまとい勧誘行為」で迷惑を受けた経験については、「迷惑を受けたことがある」が24.6%で、4人に1人が経験者となっている。「迷惑を受けたことはないが、見かけたことはある」が38.6%、「迷惑を受けたことはないし、見かけたこともない」は28.2%となっている。

自分や身近な人が繁華街においてつきまとい勧誘行為で迷惑を受けたことがある人が24.6%。

## ■ 「つきまとい勧誘行為」の規制

問 あなたは、「つきまとい勧誘行為」を規制すべきだと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つをつけてください。

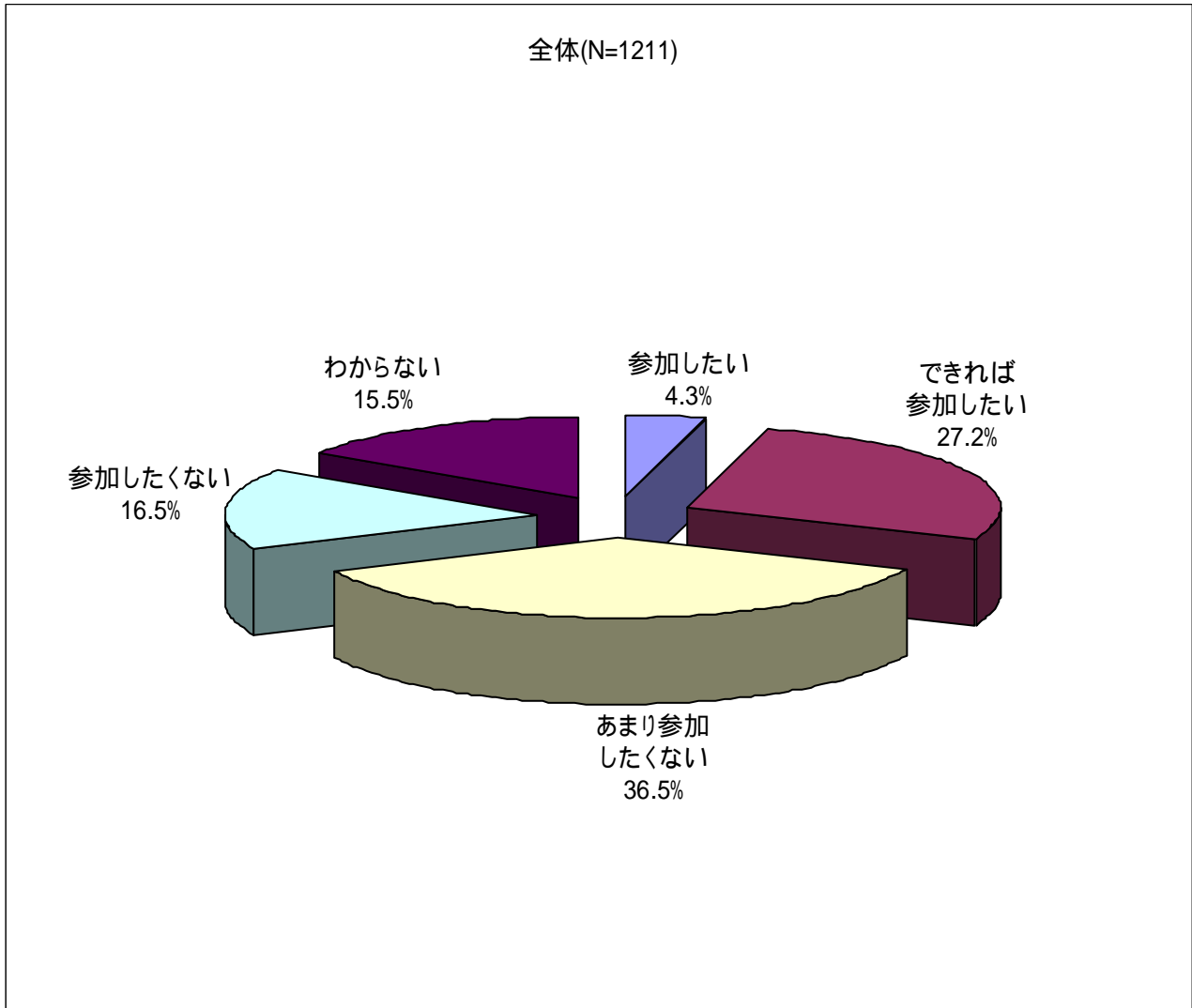


つきまとい勧誘行為を規制すべきかどうかについては、「罰則のある条例で規制すべき」が79.7%とほぼ8割を占めている。これに、「罰則のない条例で規制すべき」の11.9%を合わせると91.6%となり9割を超える。これに対して、「規制すべきではない」は1.0%である。条例で規制すべきとの回答が大勢を占め、その中でも“罰則付き”という強い規制を求める割合が高くなっている。

つきまとい勧誘行為は、「罰則のある条例で規制すべき」と考える人が79.7%。

## ■ 自主的な防犯活動への参加

問 あなたは、地域の住民やボランティア団体が行う、自主的なパトロールや防犯活動に参加したいと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。



地域住民やボランティア団体による自主的なパトロールや防犯活動については、「参加したい」が 4.3%、「できれば参加したい」が 27.2%で、この 2 つを合計した“参加”希望者は 31.5%である。

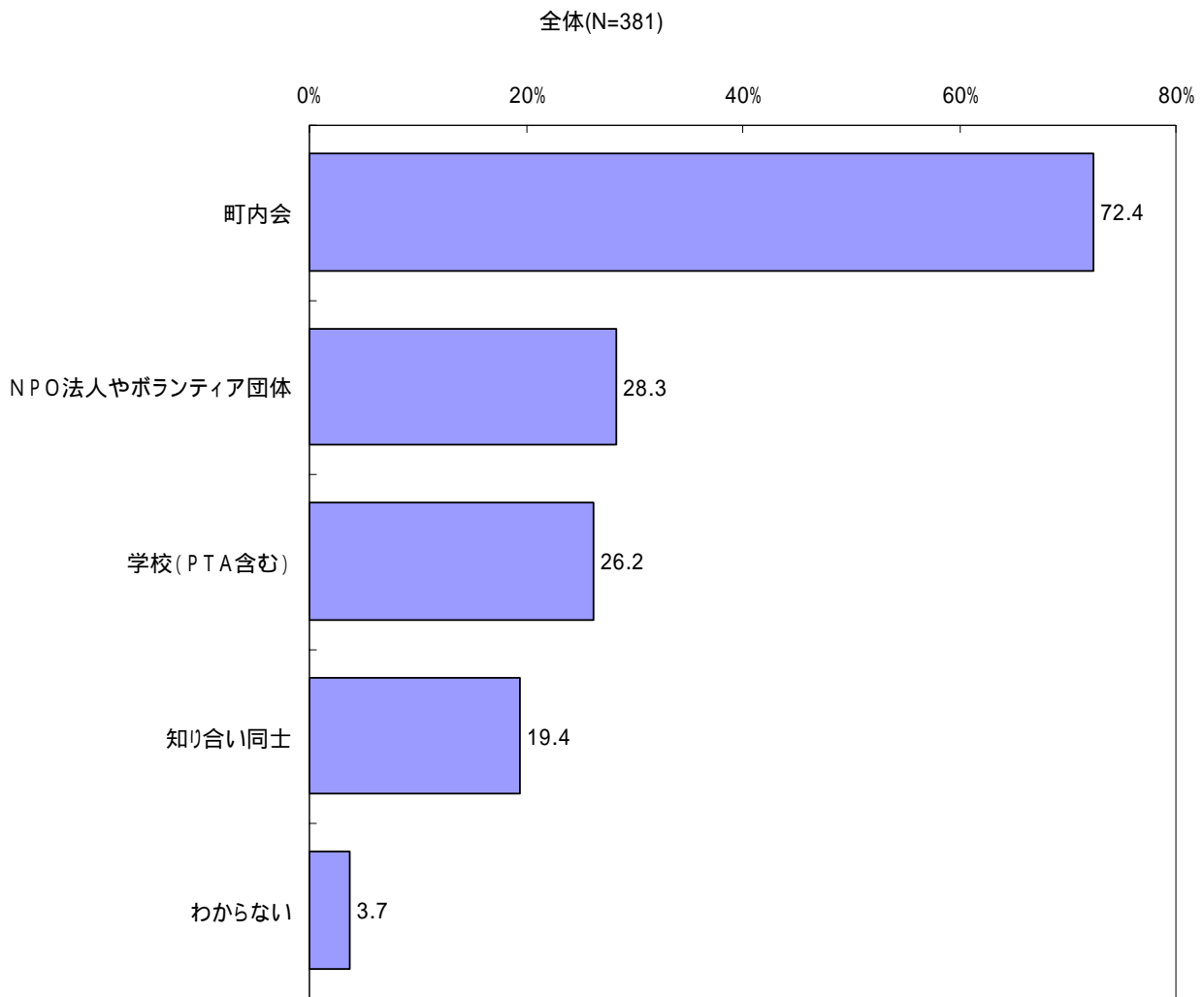
これに対して、「あまり参加したくない」は 36.5%、「参加したくない」は 16.5%で、この 2 つを合計した“不参加”は 53.0%と過半数を占めている。“参加”よりも“不参加”の方が 21.5 ポイント高くなっている。

地域住民やボランティアによる自主的な防犯活動への参加希望者は 31.5%。

## ■ 参加したいと思う防犯活動の団体

(前問で「1 参加したい」又は「2 できれば参加したい」と答えた方にお聞きします)

問 あなたは、どのような「団体など」の防犯活動に参加したいと思いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。



自主的な防犯活動への参加希望者が参加を希望する団体は、「町内会」が際立って高く 72.4%となっている。以下は、「NPO法人やボランティア団体」28.3%、「学校(PTA含む)」26.2%、「知り合い同士」19.4%となっている。

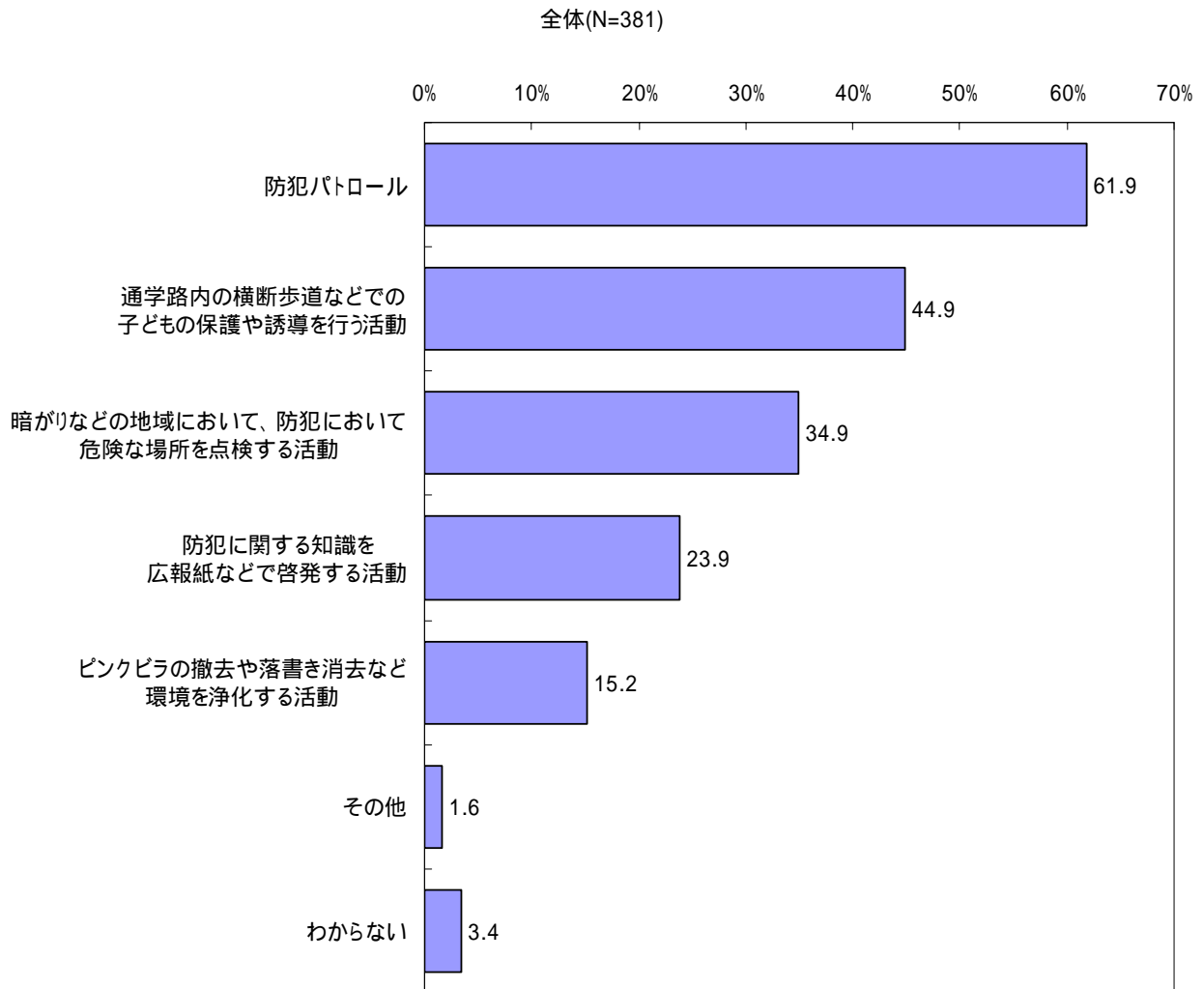
参加を希望する防犯活動の団体は「町内会」が 72.4%。



## ■ 参加したいと思う防犯活動の内容

(前々問で「1 参加したい」又は「2 できれば参加したい」と答えた方にお聞きします)

問 あなたは、どのような「内容」の防犯活動に参加したいと思いますか。次の中から、あてはまるものについて、いくつでも をつけてください。



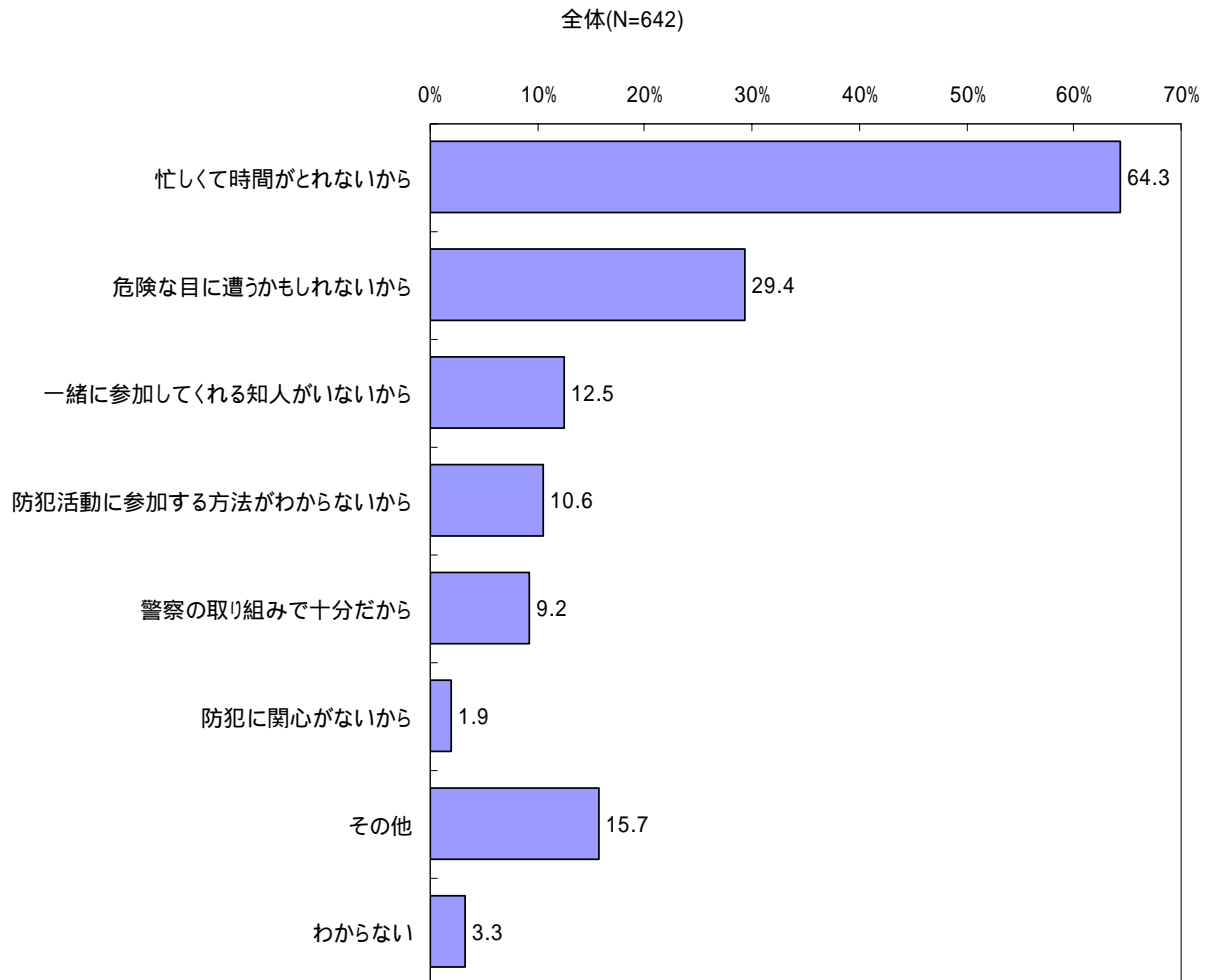
参加したいと思う防犯活動の内容については、「防犯パトロール」が 61.9%で最も高く、やや離れて「通学路内の横断歩道などでの子どもの保護や誘導を行う活動」44.9%、「暗がりなどの地域において防犯において、危険な場所を点検する活動」34.9%、「防犯に関する知識を広報紙などで啓発する活動」23.9%、「ピンクピラの撤去や落書き消去など環境を浄化する活動」15.2%の順で続いている。

参加したいと思う防犯活動は、「防犯パトロール」が 61.9%。

## ■ 防犯活動に参加したくない理由

(前々々問で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方にお聞きします)

問 防犯活動に参加したくない理由は、何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。

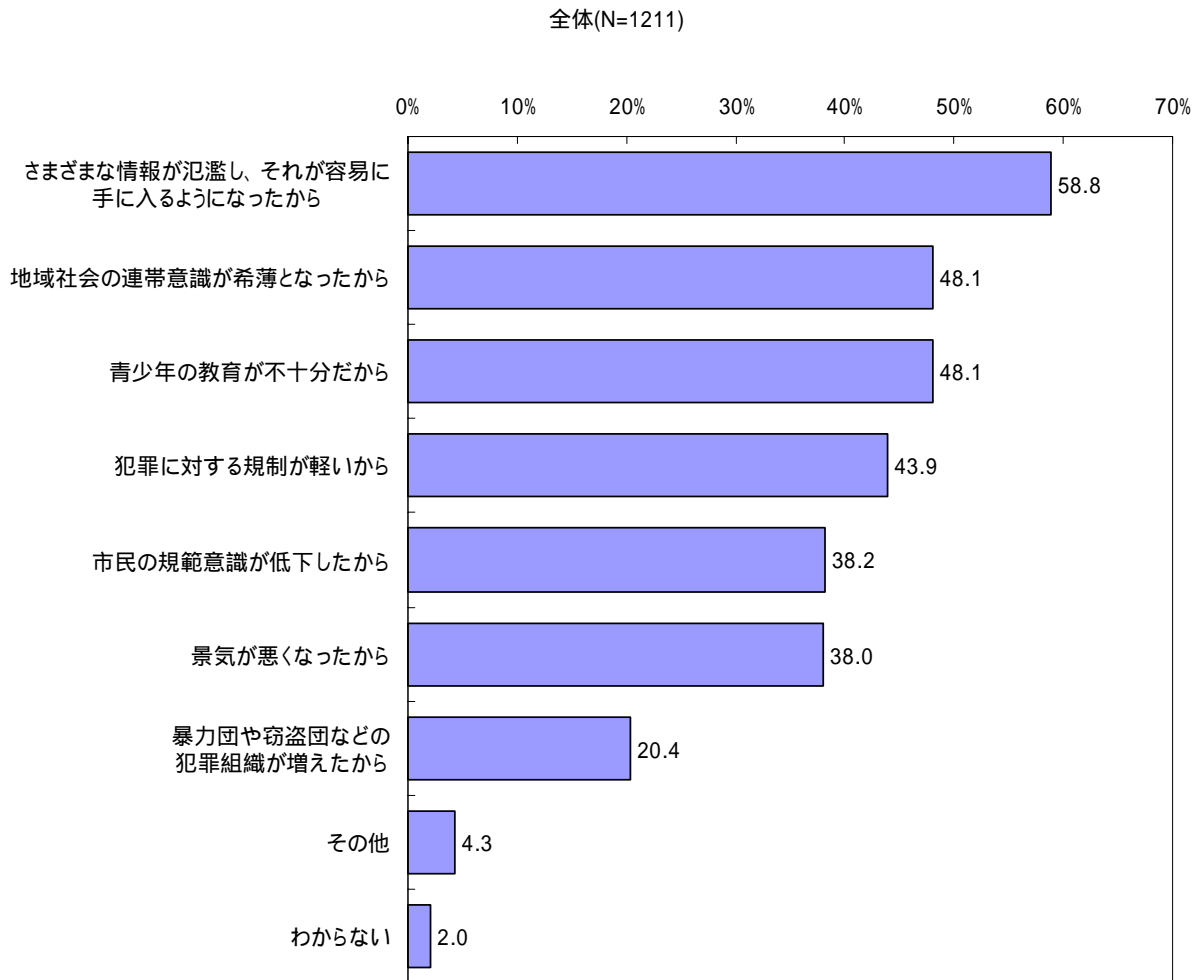


防犯活動に参加したくない理由としては、「忙しくて時間がとれないから」が 64.3%と非常に高くなっており、以下の「危険な目に遭うかもしれないから」29.4%、「一緒に参加してくれる知人がいないから」12.5%、「防犯活動に参加する方法がわからないから」10.6%などを大きく引き離している。また、「警察の取り組みで十分だから」と考える人は 9.2%、「防犯に関心がないから」は 1.9%となっている。

防犯活動に参加したくない理由は、「忙しくて時間がとれないから」が 64.3%。

## ■ 犯罪や迷惑行為が増加する原因

問 あなたは、犯罪や迷惑行為が増加する原因は、何だと思えますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもつけてください。

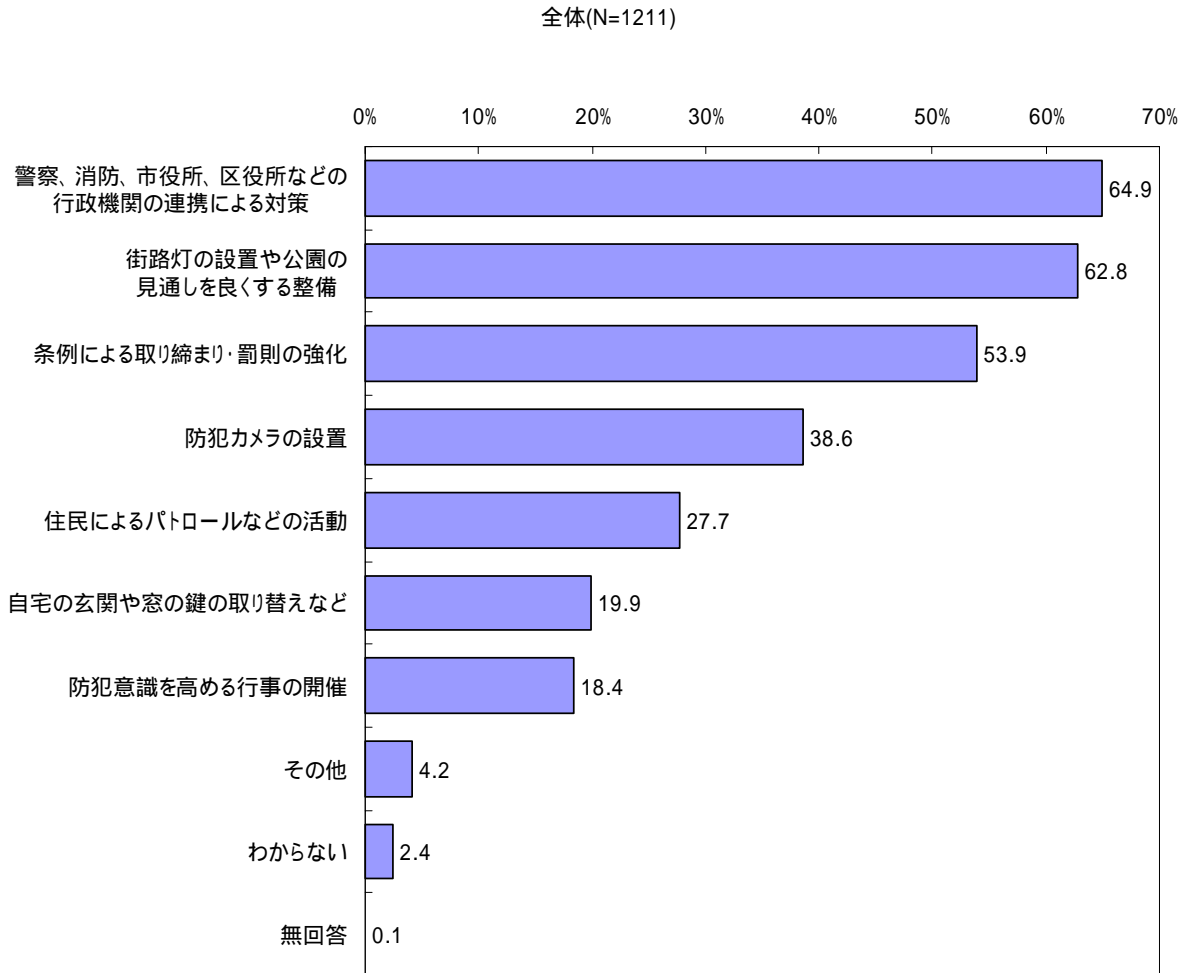


犯罪や迷惑行為が増加する原因は、「さまざまな情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから」が 58.8%で最も高く、続いて「地域社会の連帯意識が希薄となったから」と「青少年の教育が不十分だから」が同率の 48.1%、「犯罪に対する規制が軽いから」43.9%、「市民の規範意識が低下したから」38.2%、「景気が悪くなったから」38.0%、「暴力団や窃盗団などの犯罪組織が増えたから」20.4%の順である。

犯罪や迷惑行為が増加する原因は、「さまざまな情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから」が 58.8%。

■ 「安心・安全」を高めるために必要なこと

問 あなたは、犯罪や迷惑行為に対する「安心・安全」を高めるために何が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。



犯罪や迷惑行為に対する安心・安全を高めるためには、「警察、消防、市役所、区役所などの行政機関の連携による対策」が64.9%、「街路灯の設置や公園の見通しを良くする整備」が62.8%、「条例による取り締まり・罰則の強化」が53.9%で、これらの3項目の割合が高い。

警察や行政などの公的機関による対策や防犯施設整備、取り締まりの強化を期待する意見が上位にあげられており、「住民によるパトロールなどの活動」27.7%、「自宅の玄関や窓の鍵の取替えなど」19.9%、「防犯意識を高める行事の開催」18.4%など、住民自身が行う活動については比較的低くなっている。

犯罪や迷惑行為に対する安心・安全のためには、「公的機関の連携強化」「防犯施設整備」「条例による取り締まり強化」などが過半数。